

JICE レポート 39 号について

はじめに

一般財団法人 国土技術研究センターは、国民生活の向上や国土の適正管理及び有効利用の実現を目指して幅広い調査・研究を行うことで、国土交通行政を先導・補完することを目的として、昭和48（1973）年に設立された政策提言集団です。

調査・研究の成果を、広く国民の皆様や多くの政策担当官、専門技術者の方々に還元することは一般財団法人の役割として極めて重要であることから、公益事業の一環として、例年7月に500名近くの方にご来場いただく「技術研究発表会」を開催してまいりました。今年度は新型コロナウイルス感染防止の観点より、オンライン配信を用いて開催する運びとなりました。会場での開催さながらの臨場感で、リアルタイムでの活発な質疑・意見交換を行うことを目的としています。それに加え、オンデマンド配信も併せて実施することで、より多くの皆様に研究成果をご報告できるように準備をいたしました。

本 JICE レポート 39 号では、「技術研究発表会」の発表課題の論文として、当センター職員の河川、道路、都市・住宅・地域、技術・調達の4部門から7つの発表課題論文を掲載しています。

河川部門からは「流域治水に関する取組と展開～千葉県一宮川の検討を例として～」と題して流域治水の取組みを紹介し、

都市・住宅・地域部門からは防災指針を活用したまちづくりに関して「立地適正化計画における防災指針を活用した事前防災型まちづくりの提案」を掲載しています。また道路部門より、道路の維持管理のDXに向けたICT技術の活用について「道路維持管理の高度化・効率化に向けたICT等の新技術の活用のススメ」、技術・調達部門より、i-Constructionのトップランナー施策の1つであるコンクリート工について「コンクリート工の生産性向上および地方への普及促進に向けた課題と展望」と題して掲載しています。

国土政策研究所講演会として開催した、中央大学研究開発機構教授 山田正氏による「国土強靱化に向けた水災害に対する新しい思想～流域治水の考え方～」のご講演内容も掲載しています。山田先生からは水災害に関する防災・減災、流域治水等に関して様々な示唆を頂きました。本号の表紙では、気候変動等の影響により、全国的に増大する降水量について取り扱っていますので併せて御覧ください。

また、公益事業として実施している研究開発助成の紹介や成果報告についても掲載しています。研究成果の詳細はホームページに掲載しているので、是非ご活用頂くとともに、8月より募集を開始する研究開発助成への応募についてもご検討及び関係方面にご案内頂ければ幸いです。

当センターは、今後、さらに研究を深化させ、国土交通行政の先導・補完という役割を着実に果たしていく所存です。

(川崎 茂信 業務執行理事)

お知らせ <国土技術研究センター YouTube のご紹介>



技術研究発表会の発表課題や国土政策研究所の講演会は、国土技術研究センターのYouTubeでご覧になれます。

<https://www.youtube.com/channel/UCS6Zg-CGa7JYjOZHdDWKuXA/>

